【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【公表番号】特表2014-524395(P2014-524395A)
【公表日】平成26年9月22日(2014.9.22)
【年通号数】公開・登録公報2014-051
【出願番号】特願2014-527257(P2014-527257)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ　1/22　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　21/08　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ　1/22　１００
Ｂ６５Ｄ　21/08
Ｂ６５Ｄ　1/00　１１０

【手続補正書】
【提出日】平成27年8月6日(2015.8.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ブロー成形された容器であって、前記容器は、
所定の折目線に沿って、相互に隣接する複数のパネル壁であって、前記複数のパネル壁は、略ドーム状端を有する略円筒形形状の容器を実質的に形成する、複数のパネル壁
を備え、
前記複数の所定の折目線は、前記容器壁が、少なくとも部分的に折畳された状態まで前記折目線に沿って曲がることと、略ドーム状端を有する前記略円筒形形状まで前記折目線に沿って広がることとを可能にする、容器。
【請求項２】
前記容器壁は、ポリエチレンテレフタレート（ＰＥＴ）、ポリエチレンナフタレート（ＰＥＮ）、ポリ（ブチレン２，６－ナフタレート）（ＰＢＮ）、ポリエチレン（ＰＥ）、直鎖状低密度ポリエチレン（ＬＬＤＰＥ）、低密度ポリエチレン（ＬＤＰＥ）、中密度ポリエチレン（ＭＤＰＥ）、高密度ポリエチレン（ＨＤＰＥ）、およびポリプロピレン（ＰＰ）のうちの少なくとも１つを含む、請求項１に記載の容器。
【請求項３】
前記所定の折目線は、前記容器に沿って、概して垂直に走っている、請求項１に記載の容器。
【請求項４】
前記所定の折目線は、前記容器の中心軸に対して、凸状に曲がることと凹状に曲がることとを交互し、それによって、前記容器が軸方向に折畳することを可能にする、請求項３に記載の容器。
【請求項５】
前記容器の上部に配置された付属品ポートであって、前記容器の中心軸と整合されている付属品ポートをさらに備える、請求項３に記載の容器。
【請求項６】

少なくとも一時的に、前記容器を前記広がった状態に係止するための係止機構をさらに備える、請求項５に記載の容器。
【請求項７】
前記係止機構は、リビングヒンジを備える基部部分と、前記基部部分に動作可能に取着された摺動部分とを備え、前記摺動部分は、前記基部部分が前記リビングヒンジにおいて曲がることを可能にする非係止位置から、前記基部部分が前記リビングヒンジにおいて曲がることを実質的に防止する係止位置まで、前記基部部分に沿って摺動可能である、請求項６に記載の容器。
【請求項８】
前記係止機構は、前記容器上の１つまたは複数のタブと、前記タブ内に挿入可能な実質的に剛な留具とを備え、それにより、前記留具は、前記容器をその広がった状態において支持し、前記容器が有意に折畳することを実質的に防止する、請求項６に記載の容器。
【請求項９】
前記係止機構は、少なくとも１つの事前折目に沿って位置する、所定の曲げモーメントの円盤を備え、前記円盤の前記曲げモーメントに打ち勝つほどの有意な力が印加されない限り、前記少なくとも１つの事前折目が前記円盤の位置において有意に曲がることを実質的に防止する、請求項６に記載の容器。
【請求項１０】
前記係止機構は、少なくとも１つの事前折目に沿って位置する回転円盤を備え、前記円盤は、少なくとも１つの実質的に剛な区域および少なくとも１つの脆弱区域を有し、前記少なくとも１つの実質的に剛な区域が前記少なくとも１つの事前折目と整合されるように、前記回転円盤が回転されると、前記円盤は、前記少なくとも１つの事前折目が前記円盤の位置において有意に曲がることを実質的に防止する、請求項６に記載の容器。
【請求項１１】
前記係止機構は、前記パネル壁に取り外し可能に取着可能な実質的に剛な基部カップを備え、前記基部カップの剛性は、前記パネル壁が前記所定の折目線に沿って有意に折畳することを実質的に防止する、請求項６に記載の容器。
【請求項１２】
材料をエンドユーザ工程に送達する方法であって、前記方法は、
１つまたは複数の容器壁内に複数の所定の折目線を備えるブロー成形された容器を提供することであって、前記折目線は、前記容器壁が、少なくとも部分的に折畳された状態まで前記折目線に沿って曲がることと、所定の体積の形状まで前記折目線に沿って広がることとを可能にし、前記容器は、その内部に前記材料を保管されている、ことと、
コネクタを前記容器のポートに結合することであって、前記コネクタは、前記容器を前記エンドユーザ工程に動作可能に結合している、ことと、
前記コネクタを介して、前記容器から前記材料を分配し、前記材料を前記エンドユーザ工程に送達することと
を含む、方法。
【請求項１３】
前記材料は、前記コネクタを介して、ポンプによって分配される、請求項１２に記載の方法。
【請求項１４】
前記材料は、前記コネクタを介して、直接圧力分配によって分配される、請求項１２に記載の方法。
【請求項１５】
前記材料は、前記コネクタを介して、間接圧力分配によって分配される、請求項１２に記載の方法。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
複数の実施形態が、開示されるが、本開示のさらに他の実施形態も、本発明の例証的実施形態を図示および説明する以下の詳細な説明から当業者に明白となる。認識されるように、本開示の種々の実施形態は全て、本開示の精神および範囲から逸脱することなく、種々の明白な側面において修正可能である。故に、図面および詳細な説明は、制限的ではなく、本質的に、例証として見なされるものとする。
本発明は、例えば、以下を提供する。
（項目１）
１つまたは複数の容器壁内に複数の所定の折目線を備えるブロー成形された容器であって、前記折目線は、前記容器壁が、少なくとも部分的に折畳された状態まで前記折目線に沿って曲がることと、所定の体積の形状まで前記折目線に沿って広がることとを可能にする、ブロー成形された容器。
（項目２）
前記容器壁は、ポリエチレンテレフタレート（ＰＥＴ）、ポリエチレンナフタレート（ＰＥＮ）、ポリ（ブチレン２，６－ナフタレート）（ＰＢＮ）、ポリエチレン（ＰＥ）、直鎖状低密度ポリエチレン（ＬＬＤＰＥ）、低密度ポリエチレン（ＬＤＰＥ）、中密度ポリエチレン（ＭＤＰＥ）、高密度ポリエチレン（ＨＤＰＥ）、およびポリプロピレン（ＰＰ）のうちの少なくとも１つを含む、項目１に記載の容器。
（項目３）
２つの対向する側壁は、前記容器の折畳に応じて、前記対向する側壁を内向きに折り込ませる所定の折目線を備える、項目１に記載の容器。
（項目４）
上部壁をさらに備え、前記上部壁は、広がった状態において、少なくとも、前記容器の底部壁に対して傾斜勾配に構成されている部分を有する、項目３に記載の容器。
（項目５）
前記上部壁の傾斜勾配上に配置された付属品ポートをさらに備える、項目４に記載の容器。
（項目６）
少なくとも一時的に、前記容器壁を前記広がった状態に係止するための係止機構をさらに備える、項目１に記載の容器。
（項目７）
前記係止機構は、リビングヒンジを備える基部部分と、前記基部部分に動作可能に取着された摺動部分とを備え、前記摺動部分は、前記基部部分が前記リビングヒンジにおいて曲がることを可能にする非係止位置から、前記基部部分が前記リビングヒンジにおいて曲がることを実質的に防止する係止位置まで、前記基部部分に沿って摺動可能である、項目６に記載の容器。
（項目８）
前記係止機構は、前記容器上の１つまたは複数のタブと、前記タブ内に挿入可能な実質的に剛な留具とを備え、それにより、前記留具は、前記容器をその広がった状態において支持し、前記容器が有意に折畳することを実質的に防止する、項目６に記載の容器。
（項目９）
前記係止機構は、少なくとも１つの事前折目に沿って位置する、所定の曲げモーメントの円盤を備え、前記円盤の前記曲げモーメントに打ち勝つほどの有意な力が印加されない限り、前記少なくとも１つの事前折目が前記円盤の位置において有意に曲がることを実質的に防止する、項目６に記載の容器。
（項目１０）
前記係止機構は、少なくとも１つの事前折目に沿って位置する回転円盤を備え、前記円

盤は、少なくとも１つの実質的に剛な区域および少なくとも１つの脆弱区域を有し、前記少なくとも１つの実質的に剛な区域が前記少なくとも１つの事前折目と整合されるように、前記回転円盤が回転されると、前記円盤は、前記少なくとも１つの事前折目が前記円盤の位置において有意に曲がることを実質的に防止する、項目６に記載の容器。
（項目１１）
ブロー成形された容器であって、前記容器は、
所定の折目線に沿って、相互に隣接する複数のパネル壁であって、前記複数のパネル壁は、略ドーム状端を有する略円筒形形状の容器を実質的に形成する、複数のパネル壁
を備え、
前記複数の所定の折目線は、前記容器壁が、少なくとも部分的に折畳された状態まで前記折目線に沿って曲がることと、略ドーム状端を有する前記略円筒形形状まで前記折目線に沿って広がることとを可能にする、容器。
（項目１２）
前記所定の折目線は、前記容器に沿って、概して垂直に走っている、項目１１に記載の容器。
（項目１３）
前記所定の折目線は、前記容器の中心軸に対して、凸状に曲がることと凹状に曲がることとを交互し、それによって、前記容器が軸方向に折畳することを可能にする、項目１２に記載の容器。
（項目１４）
前記容器の上部に配置された付属品ポートであって、前記容器の中心軸と整合されている付属品ポートをさらに備える、項目１２に記載の容器。
（項目１５）
少なくとも一時的に、前記容器を前記広がった状態に係止するための係止機構をさらに備える、項目１４に記載の容器。
（項目１６）
前記係止機構は、前記パネル壁に取り外し可能に取着可能な実質的に剛な基部カップを備え、前記基部カップの剛性は、前記パネル壁が前記所定の折目線に沿って有意に折畳することを実質的に防止する、項目１５に記載の容器。
（項目１７）
容器を製造する方法であって、
前記容器は、前記容器の１つまたは複数の容器壁内に複数の所定の折目線を有し、前記折目線は、前記容器壁が少なくとも部分的に折畳された状態まで前記折目線に沿って曲がることを可能にし、前記方法は、前記所定の折目線を画定するように、前記容器を、少なくとも部分的に折畳された状態にブロー成形することを含む、
方法。
（項目１８）
前記容器は、４つの側壁と、底部壁と、上部壁とを備え、前記上部壁は、広がった状態において、少なくとも、前記容器の底部壁に対して傾斜勾配に構成されている部分を有する、項目１７に記載の方法。
（項目１９）
前記容器は、略ドーム状端を有する略円筒形形状である、項目１７に記載の方法。
（項目２０）
前記容器壁は、ポリエチレンテレフタレート（ＰＥＴ）、ポリエチレンナフタレート（ＰＥＮ）、ポリ（ブチレン２，６－ナフタレート）（ＰＢＮ）、ポリエチレン（ＰＥ）、直鎖状低密度ポリエチレン（ＬＬＤＰＥ）、低密度ポリエチレン（ＬＤＰＥ）、中密度ポリエチレン（ＭＤＰＥ）、高密度ポリエチレン（ＨＤＰＥ）、およびポリプロピレン（ＰＰ）のうちの少なくとも１つを含む、項目１７に記載の方法。
（項目２１）
材料をエンドユーザ工程に送達する方法であって、前記方法は、

１つまたは複数の容器壁内に複数の所定の折目線を備えるブロー成形された容器を提供することであって、前記折目線は、前記容器壁が、少なくとも部分的に折畳された状態まで前記折目線に沿って曲がることと、所定の体積の形状まで前記折目線に沿って広がることとを可能にし、前記容器は、その内部に前記材料を保管されている、ことと、

コネクタを前記容器のポートに結合することであって、前記コネクタは、前記容器を前記エンドユーザ工程に動作可能に結合している、ことと、

前記コネクタを介して、前記容器から前記材料を分配し、前記材料を前記エンドユーザ工程に送達することと

を含む、方法。

（項目２２）

前記材料は、前記コネクタを介して、ポンプによって分配される、項目２１に記載の方法。

（項目２３）

前記材料は、前記コネクタを介して、直接圧力分配によって分配される、項目２１に記載の方法。

（項目２４）

前記材料は、前記コネクタを介して、間接圧力分配によって分配される、項目２１に記載の方法。